

## SBI リクイディティ・マーケット ディーラー緊急レポート

ロンドン時間でドル円は一時 151.94 円と 32 年ぶりとなる高値を更新。その後、23 時 35 分ごろに政府・日銀が円買い・ドル売りの為替介入に再び踏み切ったと観測される動きにより、5 円以上となる急落で一時 146.20 円近辺（EBS 安値 144.80、ブルームバーグ 146.23）まで下落する動きとなりました。

日経新聞電子版で政府・日銀の為替介入実施の記事が出る一方で、神田財務官は「為替介入の有無についてはコメントしかねる」と述べられております。

前回為替介入時同様、序盤はインターバンクディーラーのメイン為替トレードシステムである EBS 経由の円買い取引が多かったと思われ、ロンドンフィキシング以降の急落局面ではその EBS 上の USDJPY 価格が先行して安値を付けに行く展開となっておりました。また今回は海外時間ということで米系銀行・証券などを中心にオーダーが出ていたと思われ、プライスアクションが過敏に反応していることが確認できています。

米ウォール・ストリート・ジャーナル紙が「FRB は 11 月の FOMC で、12 月会合で利上げ幅を縮小するか協議する」と報じた事もドル売り材料となっており、数人の FRB 高官が利上げ減速や来年早々の利上げ停止を求めているという声も聞かれ、FRB のタカ派姿勢が和らぐ可能性が出てきております。

### 【ドル円 15 分足 SBIFX トレード】

